

市民バス運行について

市では、通学・通勤、通院などで利用できるよう市民バスを運行しています。

運行路線は、下記の運行路線図のとおり9路線となっています。主な経由地は、市役所ならびに各総合支所、市立病院など、各小中学校、高等学校、JR各駅（新田・石越・瀬峰・柳津）を結んでおり、時間によってはハイウェイバス（高速バス）にも接続しています。

利用料金は、1回の乗車につき100円です。ただし、小学生以下、身体障害者手帳・療育手帳および精神障害者保健福祉手帳提示者は無料、65歳以上の運転免許返納者で無料乗車券提示者も1年間無料です。

【平成24年4月からの主な変更点】

●市民バス運休日の変更

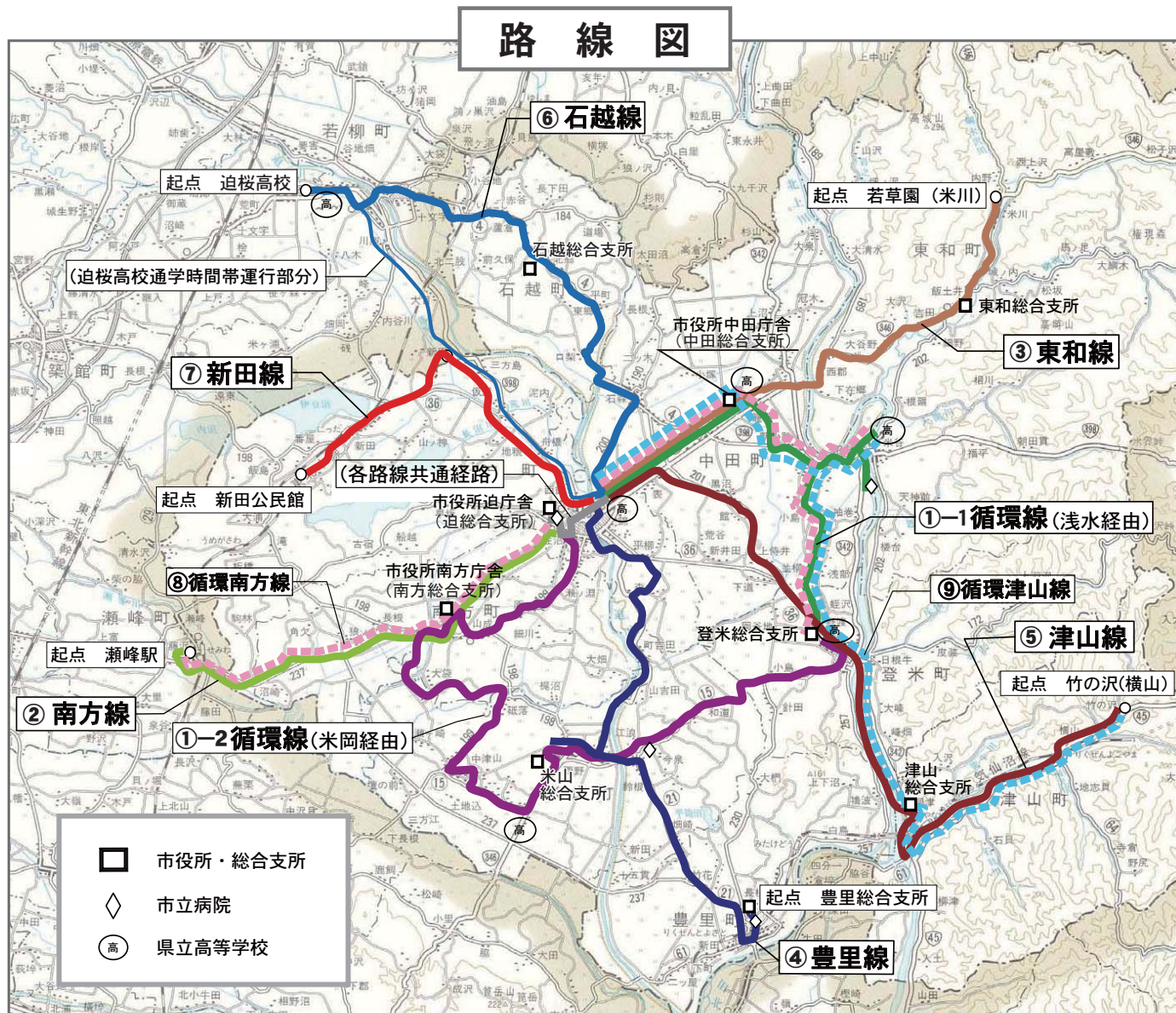
1月1日のみ運休します。これまで運休していた1月2日および3日は、土・日・祝日に運行している便と同じ扱いで運行します。

●津山線の運行時刻の一部変更

- ・津山線第1便（上り）の運行時刻を全体的に2分遅く運行します。
- ・津山線第4便（下り）の運行時刻を全体的に7分早めて運行します。

●南方線の運行時刻の一部変更

- ・南方線第5便（上り）の運行時刻を全体的に7分早めて運行します。
- ・南方線第6便（下り）の運行時刻を全体的に10分早めて運行します。



◇住所異動の届け出

届出の種類	届出に必要なもの	届出期限
市外から登米市に住所を変更したとき	▶転出証明書（前の住所地で発行） ▶印鑑（認印） ▶本人確認書類	住み始めてから14日以内
登米市から市外へ転出するとき	▶印鑑（認印） ▶本人確認書類	引っ越し前まで
市内で住所を変更したとき	▶印鑑（認印） ▶本人確認書類	新しいところに住み始めてから14日以内

【注意事項】

- ▶届出人は、本人または世帯主です。代理人の場合は、委任状が必要になります。委任状は任意の様式で構いませんが、市ホームページからも様式をダウンロードできます。
- ▶届出人の本人確認のため、運転免許証などの提示をお願いします。
- ▶住所が変更になることで手続きが必要になるもの（国民健康保険・各種医療費助成・介護保険など）がありますので、忘れずに手続きをしてください。また、手続きによって税関係証明書（所得証明書など）を請求する場合、本人以外からの請求には委任状が必要になりますので、ご注意ください。

【問い合わせ】 市民生活部市民生活課戸籍係 ☎ 0220 (58) 2118

または各総合支所市民課市民係

登米市環境市民会議からのお知らせ

市民みんなで生き物調査を実施します

市内における身近な生き物の生育・生息しやすい環境などについて大まかな傾向を把握し、動植物の生息・生育地を把握して、生き物の保護や自然と共生したまちづくりに生かすために生き物の調査を実施します。

今回は、身近な生き物の代表として（動物）カエルと（植物）タンポポを調査します。

個人はもちろん、学校や職場、各種サークルなどでも参加できます。興味のある人は、ぜひご協力ください。

【調査区域】 市内全域

【調査の種類】

動物（カエル）：ダルマガエル・アカガエル・ウシガエル

植物（タンポポ）：エゾタンポポ・セイヨウタンポポ・シロバナタンポポ

【調査期間】 4月1日から平成25年3月31日まで通年で行います。

【調査票について】

▶調査票は、各総合支所市民課や各公民館、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターに備えてあります。

▶生きもの調査票「カエルとタンポポ調査」に見つけた場所などを記録し、最寄りの総合支所市民課または市民生活部環境課に提出してください。

【問い合わせ】 市民生活部環境課

☎ 0220 (58) 5553 FAX 0220 (58) 3345

農産物の放射性セシウム低減技術について

厚生労働省では、「一般食品に含まれる放射性セシウムの新たな基準値は1キログラム当たり100ベクレル」という新基準値を4月から適用する予定です。生産者の皆さんが安全・安心な農産物を提供するための技術を紹介します。

【作物共通】

●田や畑を深く耕したり、表の土壌と下の土壌を入れ替えることで土壌中の放射性セシウムが薄められ、作物への吸収を抑える効果が期待できます。

●カリウムとセシウムは化学的性質が似ているため、作物がカリウムの代わりにセシウムを吸収します。カリ肥料が少ない土壌では、カリ肥料を積極的に使用することで、放射性セシウムの吸収を抑えることができます。

●畑・樹園地・牧草地では、土壌の酸性度が高いと土壌中のセシウムの吸着力が弱まり、作物に吸収されやすくなるので、適正な水素イオン指数（pH）に調整しましょう。

●たい肥、土壌改良資材・培土は、放射性セシウム暫定許容値以下のものを適量使い、農地に放射性セシウムを持ち込まないようにしましょう。

【水稲】

●耕す深さは15～20cmを目標にしましょう。

●カリ肥料は、基肥・追肥の施用量合計で成分20kg/10aを超えない範囲で通常より多めに使用しましょう。土壌中置換性カリウム濃度は18mg/100gを下回らないようにしましょう。追肥にも、カリウムを必ず使用しましょう。

●放射性セシウムの拡散を防ぐため浅水で代かきし、濁り水を強制落水しないようにしましょう。

【問い合わせ】

登米農業改良普及センター ☎ 0220 (22) 6127

産業経済部農産園芸畜産課 ☎ 0220 (34) 2713

住所変更の手続きはお早めに

3月・4月は入学や就職・転勤など、1年で最も異動の多い季節です。この時期の窓口は大変込み合いますので、時間に余裕を持って、早めに手続きをしましょう。また、手続きをしないと行政からの案内が届かず、生活に支障を来します。忘れずに最寄りの総合支所で手続きをしましょう。